

北潟湖水系では、まだ生体の確認に至っていない。確認後に写真を掲載いたします。

ハゼ科 チチブ属

【全長】10cm

アカオビシマハゼ

学名: *Tridentiger trionocephalus*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

内湾や浅い岩礁域を好み、比較的塩分濃度の高い汽水域に生息する。

写真はありません。

近縁種のシモフリシマハゼに非常に似る。頭部の下面に淡色斑点が無く、胸鰭の最上位軟条が分離し、尻鰭に赤色の縦線があり区別できる。主に内湾やタイドプールなど海水域を中心に汽水域にも侵入する。シモフリシマハゼと比較して塩分濃度の高い場所を好むとされる。生息環境は海水～汽水域の砂泥底部の転石やカキ殻などの下に潜み、通常は単独で生活する。体色や模様は状態に応じ大きく変化し、乳白色時の縦条模様～暗褐色時の横帯模様など変化が大きい。

在来種

汽水魚

※ シモフリシマハゼより分布域が広く、知名度も有るようだが、北潟湖水系では生体を膜人していないが、生息はほぼ間違いない。